

建設コープおおさか

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-8-9
http://www.kensetu-co-op.com 電話:06-6533-1675

リフォーム事業者の必携とは

【わかりやすい提案】

リフォームで何がかわるのがビジュアルでわかる提案書を作成・提出する。

リフォームで何がかわるのか。言葉だけで説明するよりも、目で見てわかる写真やラフスケッチ、パースなどが入った企画書を作成・提出したほうがお客様は理解・納得し、リフォームをしたい気持ちが高まり、使用材料とビジュアルサンプルでリフォーム後のイメージを共有することで行き違いのトラブルも減少する。

提案書の内容をじっくり説明。お客様に不安・不満・疑問が残らないようにする。

提案書に記載しているプランの内容は、時間をかけじっくり丁寧に説明する。お客様が疑問を抱いたり、質問された項目にも、丁寧に対応し、リフォームの知識がないお客様には、質問を誘導してみるのも一つの方法で、プランの提案で重要なのは丁寧な説明で、お客様に不安・不満・疑問を残さないこと。



【ステップアップした提案】

お客様のニーズを応えることがリフォームの基本で、お客様のニーズを超えた提案により「期待以上。さすがプロ。感激した」と思ってもらえるお客様を増やしていくのも、リフォーム事業者の使命といえる。

・性能向上の提案

性能向上リフォームには、公的補助や税制優遇を受けられる者もあり最寄りの役所で確認を取り併せて提案すると良い。

・グレードアップ提案

ライフスタイルの変化に合わせて、設備、仕上げ材料などのグレードアップを提案する。

・長く住むための提案

超高齢化社会になり、住まいの寿命が気になり、年を重ねても安心・安全に暮らせ、長く住むためのリフォームもこれからの時代には欠かせない。

・補助金や減税制度の活用提案

リフォームに関連する補助金や減税制度を紹介・提案するのも、リフォーム業者にとっても重要な仕事で、お客様の立場とメリットがある情報を提供することで信頼度は高まる。



7月の行事報告

2022年第3回理事会報告

日時：2022年7月21日(木)

18:30~20:00

場所：建設コープおおさか会議室

【報告】

1.4月~6月売上、損益報告等

【議題】

1.増改築相談員研修会の件

2.広告ハガキの件

3.次回理事会開催予定

2022年9月15日(木)

「大阪府からのお願い」

新型コロナウイルス感染症拡大防止に

向け対応について

大阪府では、1日当たり新規陽性者数が急増するとともに、病床使用率も50%に達したことから、府内の感染状況を示す基準である「大阪モデル」が「非常事態」(赤信号)に移行しました。医療提供体制を維持するため、今後も引き続き感染予防対策の取組みの継続が必要である。

このような状況を踏まえ、7月27日に第79回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、7月28日から8月27日までの間の府民等への要請を決定いたしましたので、引き続き、感染防止対策の徹底にご協力をお願いいたします。

記

○早期の3回目のワクチン接種を検討するよう周知徹底すること

○療養証明・陰性証明の提出を求めないよう周知徹底すること

○在宅勤務(テレワーク)の活用、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組みを進めること

○休憩室、喫煙所、更衣室などでマスクを外した会話を控えること

○高齢者や基礎疾患を有する方等、重症化リスクのある従業者、妊娠している従業者、同居家族に該当者がいる従業者について、テレワークや時差出勤等の配慮を行うこと

○業種別ガイドラインを遵守すること

高齢期の健康で快適な暮らしのための 住まいの改修ガイドライン

良好な温熱環境による健康生活

～適切な温度で健康住宅に～

人生 100 年時代。健康で暮らし続けるために、良好な温熱環境の住まいが求められています。

1. 温熱環境への配慮

- ①開口部など住宅の断熱性を高め、暖冷房設備を適切に設置
- ②部屋と廊下、トイレ、浴室などの温度差の減少
- ③住まい全体の暖冷房ができるように間取りなどを設置

2. 外出のしやすさへの配慮

外出がおっくうにならないよう緩やかな階段やスロープなどに改修し、外出しやすく、お客さまも来訪しやすく

3. トイレ・浴室の利用しやすさへの配慮

寝室とトイレの近接化で夜間の頻尿対策や安全な浴室で快適な入浴を楽しむ

4. 日常生活空間の合理化への配慮

将来は寝室とリビングなどをワンフロー化し、コンパクト空間にすることで安心・快適・便利に

5. 主要動線上のバリアフリーへの配慮

日常生活でよく使う空間上の段差をなくして転倒を防止し、いつまでも安全に

6. 設備の導入・更新への配慮

最新の設備を導入することで、便利で安全・清潔、しかもランニングコストも低減

7. 光・音・匂い・湿度などへの配慮

五感が衰えても、長時間にわたって快適に過ごせる室内に

8. 余った部屋の活用への配慮

子供部屋や和室を趣味室などにすることで、楽しく充実した日常生活を

【編集後記】

膝の手術を終えて、約 2 か月がたちました。今では、普通に歩くことができます。私は現在の年まで、体に一度もメスを入れることがなく、点滴さえもしたことがなかった。

当日、手術台では体が強張り緊張の 1 時間でした。先生から事前に“麻酔はすごく痛いよ”と言われていたが、本当に頭の先まで痛かった。途中で麻酔が効いていない部位があり、“先生痛いー”と伝えると追加の麻酔を打つことに。初めて目にする膝の画面には糸くずようなささくれが随所の骨の絡まり“エッ！こんな状態なの？この絡まりを吸い取っていく術後感じたことは、小手術とはいえ以前の自分の体とは違う。メスを入れたことにより、その箇所だけでなく、他の部位にも影響が出てくるのだ。そして、傷つけた身体は元には戻らないのだと。



リフォームの大切さがわかったら

元気なうちの “早めの決断”こそ重要です

将来の暮らしの変化に配慮した早めのリフォームで、日々快適なセカンドライフを。

リフォームの大切さはわかったら...でも、いつ決めたらいいの？

リフォームは3つの能力を発揮できる元気なうちに

- 判断する** リフォーム費用や工事内容などを決められる判断力が必要です。
- 片付ける** 家具の移動や物の片付けなど、整理整頓する力が必要です。
- 受け入れる** 新たな設備を導入した場合には操作等を受け入れる能力が必要です。

もしも

Q 元気なうちにリフォームしても、その後に要介護生活になってしまったら？

A 早めにリフォームすることで、安全快適な空間で過ごすことができます。健康維持が促されます。万一、介護が必要になった場合も早く対応でき、介護や経済的な負担が軽減されます。

●地下手すり
あらかじめ壁に下地を入れておくと、将来手すりをつけるときに役立ちます。

インボイス制度の登録事業者
〔登録申請のスケジュール〕
2021年10月1日…
登録申請書受付開始
2023年3月31日…
登録申請書の提出期限
2023年10月1日…
インボイス制度の導入